

天沼中学校改築に関する学校意見書

100年経っても、地域の教育の核となる施設を目指す。

コンセプトⅠ

時代が変わっても生徒が学びの充実に対応できる施設

コンセプトⅡ

地域で暮らす人が集う施設。卒業生も集う施設

コンセプトⅢ

地域の防災拠点としての機能を高めた施設

○Society5.0 に対応しその次の社会を見据えた学校教育施設

- ・タブレット使用を前提とした机の広さに対応した教室の広さを確保
- ・各教室にタブレットが充電できるコンセントを生徒分設置
- ・教室レイアウトを柔軟に変更できる壁と開放的なオープンスペースをもつ整備
- ・紙の教科書を保管しておけるロッカースペースの整備
- ・各学年4学級の教室に加え、柔軟に使用できる多目的室の設置。
- ・縦割り活動が行いやすいように、ランチルームの整備
- ・食育にも寄与するガラス越しに調理の様子が見られる給食調理室
- ・社会教育への貸し出しを見越した特別教室棟と普通教室棟の分割（セキュリティ上分割できる）

○地域教育の核となり、学校教育と社会教育の融合する施設

- ・特別教室棟には、開放会議室や開放用出入り口を設ける。
- ・施設開放用の校門と生徒登校用の校門を分ける。
- ・茶室の移築と調理室・被服室の配置の工夫（茶道・華道で使える工夫）
- ・音楽室と第二音楽室（視聴覚室）の配置の工夫（伝統文化で使える工夫）
- ・特別教室に開放貸し出し倉庫を設置
- ・子ども食堂や子どもの学習・生活支援事業での活用をしやすい施設に
- ・中高生委員会のような地域の中高生が集い、複合的に活動する施設

○部活動の地域展開を見越した体育施設

- ・柔道・剣道・卓球が常時できる武道場をもつ体育館
- ・地下にプールを設置、その水を冷暖房や防災に活用
- ・全天候で使用できる人工芝の校庭
- ・網で囲い、人工芝を敷いたテニスコートとトラックを屋上に設置
- ・武道場や第二音楽室に鏡や手すりを設置し、ダンスの活動ができるように

○地域の防災拠点としての機能

- ・体育館に防災倉庫を併設し、震災救援所に生徒の学習が阻害されないようにする。
- ・ベンチをかまどベンチとするなど、憩いと防災の両立を工夫

○個別の指導に対応する施設に

- ・さざんか教室を体育館や特別教室棟と接し、共用を可能にする
- ・生徒の登下校玄関、一般開放用玄関、さざんか教室玄関を分ける
- ・SC が在勤する相談室には一般開放からもアクセス可能にする
- ・相談室の他に学びの教室2教室、校内別室を設置する。